

平成18年4月期 会社説明会資料

株式会社テンポスバスターズ

<http://www.tenpos.co.jp/>





□ 連結財務諸表(連結初年度のため翌期予想比較)

	売上高	経常利益	当期純利益	1株当たり 当期純利益
18年4月期	7,770	520	303	6,723.35円
19年4月期(予想)	11,862	568	356	7,955.84円
伸長率	152.6%	108.4%	117.3%	

□ 関係会社の状況

名称	資本金	主要な事業内容	当社の持分比率
(連結子会社) ㈱テンポスインベストメント	30	ファンドの管理・運用	100.0%
(連結子会社) ㈱テンポスファイナンス	35	厨房機器などのリース・レンタル業務及びその仲介	69.2%
(持分法適用関連会社) ㈱オフィスバスターズ	55	中古事務機器の展示販売	36.6%

平成18年5月には当社と同業である株式会社テンポハンズ、翌6月にはその母体であった内装工事会社の株式会社ハマケンの2社をそれぞれ当社の子会社としました。

今後も当社内に限らず、テンポスグループとして新規事業を開発し、子会社設立やM&Aを積極的に行ってまいります。



(単位:百万円)

□ 連結セグメント(連結初年度のため対前年当社比較)

セグメント	平成18年4月期伸長率			
調理器具	新品売上	117.0%	中古売上	111.3%
	新品粗利	120.8%	中古粗利	111.0%
陶器	新品売上	119.1%	中古売上	120.4%
	新品粗利	123.5%	中古粗利	121.1%
家具	新品売上	125.0%	中古売上	112.3%
	新品粗利	128.6%	中古粗利	109.8%
機器	新品売上	103.1%	中古売上	112.9%
	新品粗利	114.0%	中古粗利	113.7%

新品・中古比率	18年4月期	伸長率
新品売上	5,186	111.5%
中古売上	1,755	105.6%
中古比率	25.3%	

(単位:百万円)

□ 個別財務諸表

項目	16年4月期	構成比	17年4月期	構成比	18年4月期	構成比
売上高	6,066	100.0%	6,884	100.0%	7,730	100.0%
売上総利益	2,080	34.3%	2,377	34.0%	2,826	36.6%
販売管理費	1,718	28.3%	2,064	29.5%	2,348	30.4%
営業利益	361	6.0%	313	4.5%	476	6.2%
経常利益	386	6.4%	328	4.7%	484	6.3%
当期純利益	187	3.2%	168	2.4%	282	3.6%

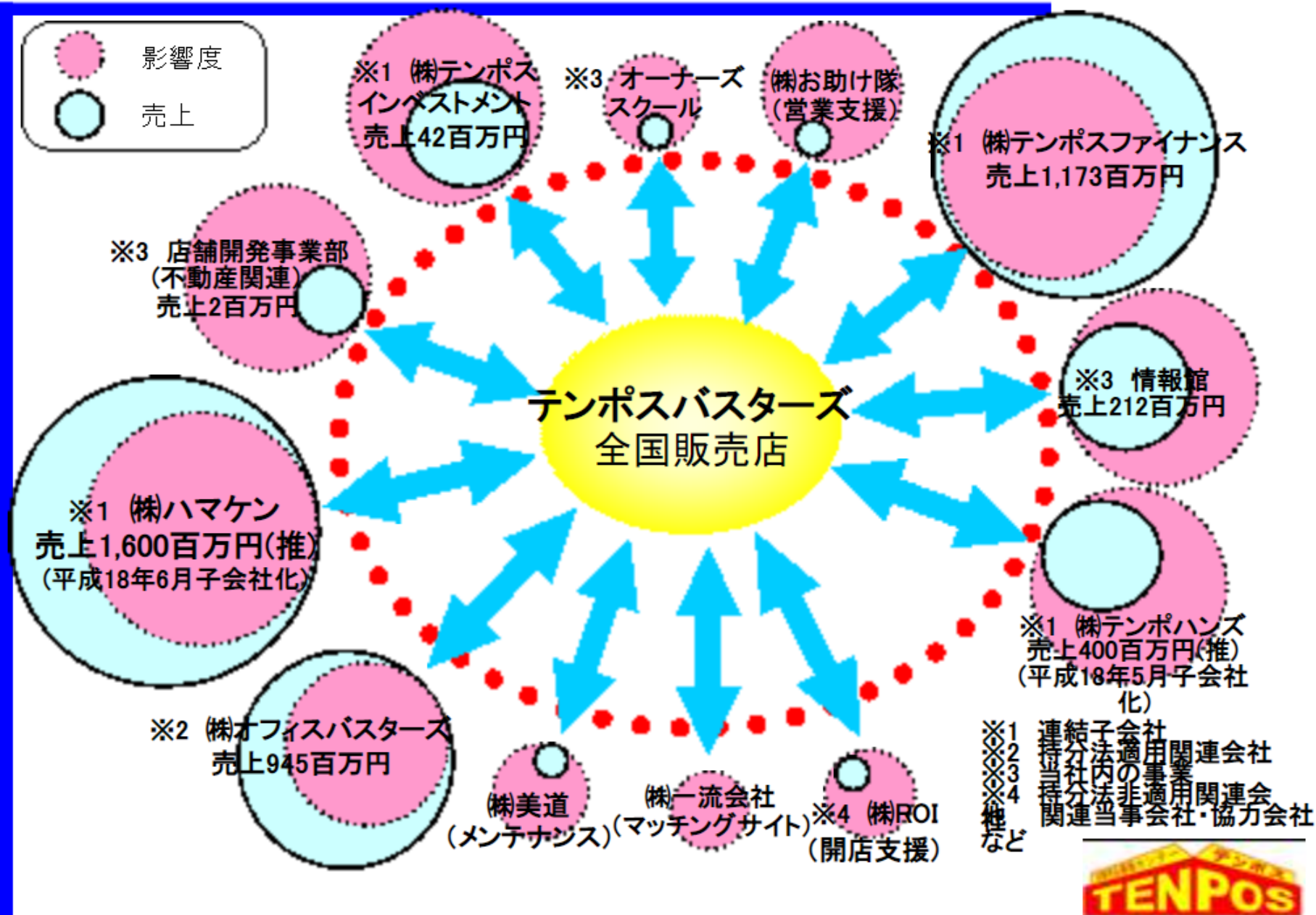


□ 当社分析指標

項目	17年4月期	18年4月期
売上高人件費率	13.5%	14.4%
流動比率	233.7%	196.5%
自己資本比率	65.3%	61.8%
既存店レジ客数(人)	275,953人	355,334人
平均客単価(円)	24,403円	20,923円
期末従業員数	287人	352人
期末パートタイマー数	58人	57人

伸長率	17年4月期	18年4月期
売上高伸長率	115.3%	110.5%
既存店売上高伸長率	103.6%	101.9%
売上総利益伸長率	114.3%	118.9%
販売管理費伸長率	120.0%	113.8%
(うち、人件費伸長率)	129.6%	117.8%
経常利益伸長率	85.2%	147.0%





当連結会計年度の4店舗の新規出店(FC含む)により、テンポス店として36店舗の全国チェーンとなりました。今後もさらなる出店を積極的に行ってまいります。

同時に、内装工事、人材派遣、ファイナンスなど飲食にかかわる周辺業務に対して新規事業開発、業務提携、資本参加、M&Aなどを積極的に進め、「フードビジネスプロデューサー」としての役割を強くしてまいります。

(1) ファンドの活用

(株)テンポスインベストメントは、平成17年11月には「テンポス飲み食いファンド(1号ファンド)」を登記、平成18年1月には「テンポス飲み食いファンド2号(2号ファンド)」を稼働させております。1号ファンド(総額420百万円)は2案件へ80百万円、2号ファンドは1案件へ610百万円全額を投資いたしました。

外食及びその周辺事業者向けに毎月「上場塾」を開催し、3年から5年で上場を目指す企業を集め、上場のための準備、アドバイスなどの勉強会を行ってまいります。上場塾を通じて上場意欲の強い企業を育て、上場企業としての管理体制や業態開発能力など当社グループのノウハウを提供し、そこへファンドを通じた投資を行うという、既存のベンチャーキャピタルとは一味違う投資手法を行ってまいります。

(2) (株)お助け隊の活用

飲食業界は変化の早い業界と考えております。これは単に流行の変化が激しい点だけではなく、鳥インフルエンザや狂牛病など外界の様々な問題が突然押し寄せ、業績に大きく変化を及ぼすという点も捉えております。

関連当事会社の(株)お助け隊は、民事再生企業の支援、長期低迷にある飲食事業者、業態開発に悩む企業などに自ら入り込み、社員教育、管理支援、店舗改装案作成助言、メニュー開発、販促企画などを直接行うコンサルティング事業者です。これを活用し、そのうえで資金的な要請があればファンドの活用、リース・クレジットの要望があれば(株)テンポスファイナンスの活用と、当社グループとして支援体制を構築してまいります。

